

令和八年度 第一学期終業式 校長式辞

おはようございます。

本日で令和八年度第一学期が終了します。皆さん、この一学期、学習、部活動、研究活動、委員会活動、資格取得、ボランティア活動などなど、もろもろの活動や取組、大変お疲れ様でした。

七月八日に梅雨明けの発表があった後、連日、夏本番の暑い日が続いています。京都府農林水産技術センター海洋センターが六月十九日に発表した京都府沿岸の表層水温（〇～五十m平均）は、大変暑かった昨年、一昨年よりも高い状態で推移しており、今後その傾向が続くと予報されています。また、南米ペルー沖から西の海の海面水温が平年より高い「エルニーニョ現象」の発生が予報されておりますが、エルニーニョ現象の時、日本は冷夏（涼しい夏）となると言われてきましたが、温暖化の影響の方が強く、気象庁により、七～八月の気温は平年より高いと予測されています。さらに続く夏の猛暑や水不足が心配であります。環境についても考える夏休みにしてもらえればと思います。

この一学期、サッカーワールドカップ2026、バレーボールネーションズリーグ2026の開催もありました。また、テレビドラマ「サバ缶、宇宙へ行く」が話題になりました。とりわけ、二月二十八日にアメリカとイスラエルがイランを攻撃して始まった戦争は、未だに収束しておらず、原油価格の高騰、ナフサの不足、物価高など世界経済全体にまで大きく影響しています。

さて、皆さんにとって、この一学期はどんな学期だったでしょうか？

本日の伝達表彰にもありますが部活動やボランティア活動などで、多くの人が大変活躍しました。先生方、私もうれしく思っています。また、たとえ上位大会への出場や大会優勝などが叶わなくても、日々の厳しい練習に根気強く取り組んできた人も多く、必ず自分の大きな財産として、今後の人生に彩りを添えてくれます。

本日、簡潔に二点申し上げます。

一点目 七月初めに、美容師の傍ら、登山家であり、写真家、冒険家という異色の肩書き・経歴を持つ稲葉 香（いなば かおり）さんという女性の方から講演を聴く機会があり、御講演の中身に感銘を受けましたので共有させていただきます。

この方は、十九歳でリウマチという、免疫の異常により手足の関節が炎症を起こし、腫れたり痛んだりする病気にかかれ、歩くことにも影響があるほど、足首などの関節が痛むそうです。

歩くことさえ困難になる病（リウマチ）を患いながらも、ヒマラヤへのトレッキングを繰り返し、御活躍されています。YouTube に動画の掲載もあります。

講演の中心は、標高5,000m級の峠を2本越えなければならない過酷な道のりを何回も越え、ヒマラヤ山脈に近いネパールの西にあるドルポという町に、何回も通い続けられたお話でした。その方は、冒険の成果が認められ、植村直己賞も受賞され、著書も複数あります。

稲葉さんが紹介された冒険の一つは、観光地でもないドルポの町で、百二十二日間に及ぶ越冬を経験されたことです。うち行き十日、帰り十日間は、公共交通機関がなく歩いての道のり、水が貴重で毎日の入浴はできない。誰も匂いを気にしない。病院もない。人間

という動物に戻り、荷物を運ぶ動物、ヤギなどの動物と共生する。そんな生活を往復の日数を除く百三日間をドルポの町で過ごされました。

十九歳でリウマチが発症し、歩けなくなるかも知れないという診断で、山に登るなど想像もできなかったが、ヒマラヤトレッキングにより人間の根源的な力や大地の力に目覚め、山に登るまで復活された稲葉さんですが、「本気で願い、本気で行動し続けければ、夢は叶う。」「一步を踏み出すこと」「諦めなかったら無限の可能性がある。」そんな言葉が印象的でした。

皆さんも、夢を諦めないために、本気で行動してください。

二点目 七月一日の新聞記事になりますが、2040年を見据え、産業を支える人材の不足が予測・心配されています。そこで、国として、産業を支える人材を育成する必要があります。専門学科を有する学校を支援しようとする動きがあります。高校無償化で私立高校に入学する生徒が増えていると、ニュース等で聞いたことがあるでしょうか？しかし、産業を直接支える人材を育成している専門高校は、本校も含め、ほぼ全てが公立高校です。このため、国として、公立高校を支援していくため、パイロット校を定め、先導的な役割の学校を指定し、その取組を他校にも広げていくような計画があります。正式には「高等学校等教育改革促進事業」といいます。その中で、京都海洋高校が、アドバンスト・エッセンシャルワーカー等育成支援という枠で、指定が決定しています。知っておいてください。

結びに、いよいよ四十五日間に及ぶ夏休みが始まります。

特に三年生は、就職や進学準備など、進路に対する活動で大変大切な時期を迎えています。健闘を祈っています。その他、部活動の練習や大会など、大変忙しくされると思いますが、「読書」「部活動」「体を鍛える・スポーツ」「学習」「資格取得」一、二年生も含め「進路に対する活動」「ボランティア活動」「趣味」「特技」など、新たなことも含めて、夏休みのような長期の休みの期間でしかできないこともあります。是非、計画や目標を立て、稲葉さんの言葉のとおり、「一步を踏み出す攻めの姿勢」で、有意義な夏休みになるよう取り組んでください。

なお、七月二十八日（火）・二十九日（水）は、日本海南部水研といって、山口県から京都府までの水産・海洋系高校の先生や生徒が宮津市内のミッブルに集まり、教員の研究協議や生徒の研究発表大会が行われます。

終わりに、交通車両による交通事故以外にも自転車による事故にも注意しなければなりません。その他、全国どこかで発生してしまっている水の事故、などからも自分の身を自分で守り、九月一日（火）、皆さんが元気な姿で、二学期始業式を迎えられますことを願っております。

令和八年七月十七日

校長 上林 秋男 以上